

国土交通省より

■ 第5回グリーンインフラ大賞「国土交通大臣賞」が決定しました！

グリーンインフラ官民連携プラットフォームでは、第5回グリーンインフラ大賞について、全国から応募のあった多数の取組事例の中から「国土交通大臣賞」2件、「特別優秀賞」4件、「優秀賞」7件を決定しました。

第5回グリーンインフラ大賞「国土交通大臣賞」

◆ 武蔵野台地における『雨にわ』によるNbS の普及・実証事業

【受賞者】 特定非営利活動法人雨水まちづくりサポート
一般財団法人世田谷トラストまちづくり

【所在地】 東京都世田谷区、武蔵野市

【概要】 市民・民間が参画する「流域治水」、「雨にわ」の認知度向上と実践の取組
調査・計画・設計・施工・点検・維持管理・モニタリング・効果評価を通じた2地域（世田谷区、武蔵野市）での雨にわの実践と地中も含めた雨水の見える化を実現。様々なプログラムを通じた自治体・市民の雨にわの設置プロセスへの参画による幅広い世代への普及・啓発を実施。
(例)親子向け普及ワークショップ(WS)、市民向け実践WS、自治体職員向け調査WS、イベント参加(子供霞が関見学デー、武蔵野エコマルシェ等)



ポイント

雨にわの社会実装・各種イベントを通じた参加者の意識醸成、調査・計画～維持管理まで一連の社会実装に関するレポートの取りまとめ、植物の生育や微気象の改善効果等の評価・分析を行うためのデータ収集

◆ おおはし里の杜 ～都市部の道路空間を活用した”生きもの中心の緑地”～

【受賞者】 首都高速道路株式会社

【所在地】 東京都目黒区

【概要】 大橋ジャンクション整備後のモニタリング・維持管理活動と地域社会との共生の取組
換気所屋上という特殊な空間に、かつての目黒川周辺の原風景をモデルに地域の自然を再生した緑地を整備。周辺の緑地と連携することで、エコロジカル・ネットワークを形成し、生物多様性を保全。小学生向けの稲作体験、教育機関と連携した講座等の地域との共生活動を実施。



ポイント

都市部における自然の再生、多種多様な生きものの生息環境の維持、様々な認証等の取得（自然共生サイト、江戸のみどり登録緑地、SEGES 等）、環境教育の場としての活用（稲作体験、自然ふれあい会等）

第5回グリーンインフラ大賞「特別優秀賞」

◆ 馬場川通りアーバンデザイン・プロジェクト

【受賞者】 一般社団法人前橋デザインコミッション、株式会社ランドスケープ・プラス、宮下工業株式会社、株式会社オリエンタルコンサルタンツ、平方木材株式会社、群馬県前橋市

【所在地】 群馬県前橋市

◆ 「5本の樹」計画

【受賞者】 積水ハウス株式会社

【所在地】 沖縄を除く全国の都道府県

◆ 高山西IC ビオトープ ～地域で育てた「飛騨の森」～

【受賞者】 岐阜県立飛騨高山高等学校、飛騨地域エコロード 検討委員会（事務局：高山国道事務所）、株式会社建設技術研究所、株式会社建設環境研究所、株式会社環境アセスメントセンター、いであ株式会社、国土交通省中部地方整備局高山国道事務所

【所在地】 岐阜県高山市

◆ 竹中育英会学生寮

【受賞者】 公益財団法人 竹中育英会、株式会社 竹中工務店

【所在地】 東京都練馬区

第5回グリーンインフラ大賞「優秀賞」

- ◆ かなめのもり ～敷地比100%育つ緑化・雨水全量自然浸透による都心の森の創出～
【受賞者】株式会社長谷川ビルディング、株式会社高田造園設計事務所、株式会社川島範久建築設計事務所
- ◆ 境川・清住緑地 ～富士山からの豊富な湧水と水辺自然環境を守る地域協働活動～
【受賞者】特定非営利活動法人グラウンドワーク三島、三島市、境川・清住緑地愛護会、加和太建設株式会社、静岡コンサルタント株式会社
- ◆ 聖蹟桜ヶ丘北地区 多様な主体の分野横断的な連携、公有地と民有の空き地を活用した
かわまちづくりによる自然再興・地域活性化・地域防災力の向上
【受賞者】東京建物株式会社、株式会社東栄住宅、京王電鉄株式会社、伊藤忠都市開発株式会社
- ◆ 研究学園「まちごとグリーンインフラ」を目指して
【受賞者】つくば市谷田部地区区会連合会・研究学園支部、つくば市、独立行政法人都市再生機構
- ◆ 都心の住宅地で雨から始まるまちづくり 一小さなスペースで建築的な制約が多い場所での雨庭の在り方一
【受賞者】NPO 世田谷まちづくり市民評議会、株式会社フレーム一級建築士事務所
- ◆ 生物多様性重要エリアマップの公開
【受賞者】名古屋市
- ◆ グリーンインフラ普及啓発ツール「雨庭カプセルトイ」の開発及び
カプセルトイを用いた地域におけるグリーンインフラ認知度向上にむけた取組
【受賞者】京都産業大学 環境政策学研究室

詳細はこちらから ▶▶▶ 「第5回グリーンインフラ大賞「国土交通大臣賞」が決定しました！」
(https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000336.html)

会員より ～ グリーンインフラに関する会員の取組を紹介します！ ～

■令和6年度都市緑化技術研修会「民間との連携でつなぐみどり」開催のお知らせ

公益財団法人都市緑化機構【三号会員】

都市緑化に関する情報交換と技術の普及を図るため、公共団体等の都市緑化にかかわる技術者を対象として都市緑化機構が開催する研修会です。今年度は、都市緑地法等の一部を改正する法律の内容に触れ、国の緑地を確保する取組の評価・認定制度について理解を深め、先進事例の取り組みを通じて、緑の量・質を高める都市環境整備のあり方を探ります。どうぞ奮ってご参加下さい。

● 開催概要

日 時：令和7年1月23日（木）13時30分～16時45分、1月24日（金）9時～16時

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

参加費：当機構会員13,970円（非会員17,270円）テキスト代込み・税込み

※参加費は申込受付後にお送りする案内に記載された振込先に1/17（金）までにお振り込みください。

● 開催概要

Googleフォームにてお申込み下さい。

（GoogleフォームへのQRコードもご利用いただけます。）

または、以下にある参加申込書（WORD）に必要事項をご記入のうえ、郵送、FAX、メール（スキャニング添付）にてお送りください。 申込締切：令和7年1月14日（火）

[申込書（WORDファイル）](#)

● お申込・問い合わせ

○公益財団法人都市緑化機構 研究部 今井、日下部、田代

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル2階 TEL 03-5216-7191 FAX 03-5216-7195

e-mail：entry@urbangreen.or.jp

● プログラム

1日目 1月23日（木）13:30～16:45（13:00受付開始）

講演1	仮）都市緑地法改正の目指す都市緑地	国土交通省 都市局 都市環境課課長補佐 酒井翔平
13:40-14:30	令和6年11月に施行した「都市緑地法等の一部を改正する法律」の内容に触れ、優良緑地確保計画認定制度等について概説いただき、今後の都市環境整備について、自治体や民間など多様な主体に期待する取組について述べていただく。	
講演2	仮）東京都における都市公園の官民連携	東京都建設局 公園緑地部計画課課長 坂下智宏
14:40-15:30	都市公園は豊かな生活を支えるグリーンインフラであるとの認識のもと、多様な主体と連携を回りながら中長期的な視点で保全と利活用を図る柔軟な管理運営の実践事例を紹介いただくとともに、官民連携による緑化推進について展望を述べていただく。	
講演3	仮）都市緑化の質の向上がもたらすもの	MS&ADインターナショナル株式会社 基礎研究部上席フェロー 原口真
15:40-16:30	日常的な経済活動は自然資本の上に成立するとの考えのもと、都市緑化の目指すべきゴールの可視化、民間の緑化推進に尽力してきた知見から、産官学連携による地域のQOL向上の意義、民間の緑化推進のトレンドについて概説頂く。	

2日目 1月24日（金）9:00～16:00（8:50開場）

講演4	仮）都市における緑のつながり	千葉大学大学院 園芸学研究所 教授 柳井 重人
9:00-9:50	多様な機能を有する都市緑地の質・量の確保に向けて、官民が連携したグリーンインフラの実装が一層期待されている。民間投資による良質な都市緑地の確保に向けた緑地の評価の視点について、トライアル認証事例を踏まえて述べていただく。	
講演5	仮）まちなかの樹木の保存と活用の両立を図る取組み	株式会社三愛地 所設計 都市環境計画部 津久井敦士
10:00-10:50	まちなかの貴重な雑木林を形成する企業の保育地、企業の運動場、研修所を経て、持続的な環境・社会の実現に向けた取組の一環として、施設を地域に開放した事例について、緑地の存在意義に概説紹介いただく。	
講演6	仮）「市谷の杜」の都市における新しい森づくり	大日本印刷株式会社 サステナビリティ推進委員会事務局局長 鈴木 由香
11:00-11:50	「市谷の杜」は市谷地区の地形や歴史も踏まえつつ、地域住民との協議を通じて、多様なあふれる自然に近い森をつくるという計画とこれまでの取り組みを紹介いただくとともに、目指すゴールについて述べていただく。	
事例見学	仮）SETAGAYA Q8-GARDEN	第一生命保険株式会社 不動産部 ファシリティア ネジメント課 古舘 聖子
14:00-16:00	世田谷区で「地域住民のwell-beingの向上」をコンセプトにした、約9haのまちづくり事例を見学。同社が1954年に取得し長年グラウンドとして活用した土地を既存樹や歴史的建造物を保存しつつつたプロジェクト。	

詳細はこちらから ▶▶▶ 「都市緑化技術研修会を開催します」
(https://urbangreen.or.jp/info-support/workshop/techkensyu_r07/)